The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ナウ
Network Now
JART情報
http://www.jart.jp
2020 No.533
5/1
発行所　公益社団法人日本診療放射線技師会
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル31階
TEL. 03-5405-3612　FAX. 03-5405-3613

Headline from JART

2020（令和2）年度 診療報酬改定について

今回の改定において、画像診断管理加算1・2・3の点数評価は変わらないが、日本医学放射線学会からの要望書の内容に沿って、加算2と加算3の施設基準にMRIの安全管理項目が追加された。また全身MRI撮影加算と血流予備量コンピューター断層撮影料、ポジトロン断層撮影における新生児加算、乳幼児または幼児加算が新設された。見直された項目としては、小児頭部外傷の際のCT撮影の加算とその算定要件、冠動脈CT撮影の算定要件の追加、画像等手術支援加算（K939）などがある。放射線治療では密封小線源治療の増点などがある。

見直された項目に共通するのは、安全管理と検査を施行する際の医学的根拠について診療報酬明細書に摘要記載するなど、ガイドラインやエビデンスを重視していることだ。

CT透視下気管支鏡検査加算の施設基準には、診療放射線技師が配置されていること、超急性期脳卒中加算の見直しには、診療放射線技師の常時配置の「必要に応じて連携を図ること」がある。また強度変調放射線治療（IMRT）に関する施設基準や超音波検査の評価の見直し（報告書作成）に関しても診療放射線技師の名称が入っている。

上記の超音波検査の評価の見直し（報告書作成）に関しては、Network Now 3月号の五感でも触れたが、2月7日の答申時点では「医師もしくは、臨床検査技師が報告書を作成し、その報告書および画像を診療録に添付すること」とあったが、修正され診療放射線技師の名称が入っている。また強度変調放射線治療（IMRT）に関する施設基準において、関係学会からの医療技術評価提案書では「医学物理士」という表現であったのが、最終的には「放射線治療を専ら担当する常勤の診療放射線技師（放射線治療の経験を5年以上有するものに限る。）が1名以上配置されていること」になった。

診療報酬は各点数の加算や増点だけではなく、各職種の価値の評価として施設基準、要件への明記が重要であることは言うまでもない。これらの施設基準の修正に関しては、本会からの強い要望とそれを裏付けるデータ（皆さまからのアンケート結果）によるものであり、増大する診療放射線技師の付加価値労働（時間対効果や業務負荷を意識した）の検証が評価に結び付くことになる。

キーワードは「(付加)価値」の可視化である。すなわち個々の手技に対応した評価をする場合、その対象について、どこにその源泉を価値とするかを深堀りすることが重要となる。

付加価値（精度管理、機器の安全確保および感染対応への価値）、利用価値（実施把握の反映と運用連携の価値）・生産価値（診断・治療の生産性を高める価値）――と整理できる。

その上で「各種取り組みのきっかけ（背景･課題）」から「取り組みの具体的内容（運用・連携・実施事案）」、そして「取り組みから期待できる効果・成果（改善点と医療への改善評価）」というような体系的整理を取りまとめた提言が、今後重要になるといえる。

このように、診療報酬政策立案委員会では診療放射線技師の付加価値労働について可視化、評価に結び付けるためのアンケート調査やシンポジウム開催、要望書作成を行ってまいりました。そのためには、会員の皆さまからのアンケートの充実が必要不可欠となります。われわれの実態を映し出し、価値を可視化させる鏡であります。

ご協力のほどお願い致します。

診療報酬の改定や施設要件について、詳しいことは下記アドレスからご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000188411_00027.html

児玉理事 結核研究奨励賞を受賞！

Clinical Imaging

Effectiveness of bone suppression imaging in the diagnosis of tuberculosis from chest radiographs in Vietnam: An observer study

公益財団法人結核予防会が主催する結核研究奨励賞を、本会理事である新潟医療福祉大学 医療技術学部 診療放射線学科 児玉直樹氏が受賞した。業績題名は「Effectiveness of Bone Suppression Imaging in the Diagnosis of Tuberculosis from Chest Radiographs in Vietnam: An Observer Study」である。

本賞は、医療技術関係者の結核に対する関心を高め、結核に関する実践的研究を振興奨励するために設けられている。診療放射線技師が結核の早期診断に大きく貢献できることが今後も期待される。

2019年度 放射線機器管理地域研修会（愛媛県）開催される

2020年2月2日（日）、愛媛大学医学部 基礎第二講義室で「2019年度放射線機器管理地域研修会（愛媛県）」を開催し、28人の方に受講いただいた。

今回の講習会では、関係法令および一般撮影・CT・造影剤自動注入装置・MRIの各モダリティーの機器管理の在り方と実践、そして課題について講義が行われた。限られた時間であったが、講演終了後も多くの質問がなされ、受講生の皆さまの関心の高さがうかがえ、非常に充実した研修会であった。

医療法施行規則の一部改正が2020年4月から施行された。放射線検査における線量管理の厳格化が求められる中で、医療機器の保守・安全管理は診療放射線技師にとって大切な業務であり、われわれが中心となって実践することが重要である。また多くの医療機器に関わる医療事故が発生しているが、その際には、必ず保守点検や日常点検の実施状況、および安全使用のための研修会が実施されていたかが問題となり、そのためにも本研修会が放射線関連機器の安全管理を実践し、安全・安心な医療の提供につなげていくための動機付けの一助になればと願っている。

2020年度も地域研修会は継続して開催を予定している。

講演を行うモダリティーについては、開催県の皆さまのご意見を取り入れプログラムを作成している。詳細は、JART会誌・ホームページでご案内させていただくので、多くの診療放射線技師の皆さまのご参加をお願いしたい。

（放射線機器管理士分科会　中村泰彦）

医療基礎コース「救急医療学」実習 開催される

2020年2月9日（日）、名古屋掖済会病院で医療基礎コース「救急医療学」実習が開催された。愛知県では、2016年度より4年連続の開催となった。今回は、定員24人に対し残念ながら9人の受講者ではあったが、予定通り午前10時30分から実習が始まった。

初めに、公益社団法人愛知県診療放射線技師会副会長より開会のあいさつがあり、その後、講師の先生方の自己紹介を皮切りに実習がスタートした。講師は、JA愛知厚生連海南病院 住田知隆会員をはじめ、静岡県・愛知県・岐阜県・大阪府などより、いずれも日本救急医学会ICLS認定インストラクターの資格を有する優秀な10人の講師陣にお集まりいただいた。

午前中は「一次救命の歴史と心肺蘇生法のポイント」についての講義の後に実技に移り、「発見から胸骨圧迫」が行われた。1時間の昼食休憩を挟んで、午後からは「気道確保と換気」「AEDの取り扱い方」について講師の指導を受け、グループ内での議論も交わしながら実習を行った。実習後は筆記試験と実技試験があり、最後に今回受講した皆さまに修了証をお渡しして、実習は終了となった。

医療基礎コース「救急医療学」実習は、優秀な講師陣による大変充実した内容の実習で、来年度以降も開催地域を増やし開催される予定とのことである。

愛知県診療放射線技師会では、2020年度も引き続き医療基礎コース「救急医療学」実習を開催する計画であり、今後も会員の皆さまのご参加をお願い申し上げる。

最後に、年度末の多忙な中お集まりいただき、ご指導くださいました講師の皆さまに心より感謝申し上げます。

（公益社団法人愛知県診療放射線技師会　鈴木正広）

ミステリー作家 今村昌弘氏との対談 実施される

2020年3月19日（木）午前11時より本会事務所応接室において、ミステリー作家で診療放射線技師でもある今村昌弘氏と中澤靖夫会長の対談が実施された。今村氏にはJART特集企画「人生対談」のために本会までお越しいただいた。今村氏は1作目の著書で第27回鮎川哲也賞（東京創元社が主催する公募の新人文学賞：創意と情熱溢（あふ）れる鮮烈な推理長編を募集）を受賞し、国内ミステリーランキング4冠（このミステリーがすごい！ 2018年度、2018 週刊文春ミステリーベスト10、2018 本格ミステリ・ベスト10、第18回本格ミステリ大賞）を達成しており、その著書は漫画化・映画化もされている。

約1時間の対談の中、診療放射線技師を目指された理由、推理作家を目指された理由、ストレス解消法について、人工知能（AI）活用について、生きがいについて、自身の人生に大きな影響を与えた人についての話がなされた。最後に、診療放射線技師に伝えたいことを伺い、対談は終了した。本対談の内容は後日、会誌に掲載されるので、ご期待いただきたい。

第72回 診療放射線技師国家試験問題の分析結果

診療放射線技師国家試験問題評価委員会 委員長 佐野 幹夫

2020年2月20日（木）に実施された、第72回診療放射線技師国家試験の出題内容および解答の考査を目的として、2020年2月27日（木）に国家試験問題評価委員会を開催した。本委員会では、本年度の国家試験が診療放射線技師法第17条で定める診療放射線技師に必要な知識および技能を評価する試験問題として適切であったか検討し、その結果をJARTから答申書として医政局医事課試験免許室に提出したので以下に報告する。

国家試験問題評価委員会（委員名）

○佐野 幹夫　井戸 靖司　丸山 智之　木暮 陽介　腰塚 慎二
安田 光慶　成田 浩人　岡部 圭吾　西澤　徹　丹羽 政美

第72回診療放射線技師国家試験問題についての答申書

1. 総　評

診療放射線技師の業務拡大に伴い、医療安全管理学が診療放射線技師学校養成所指定規則第二条（指定基準）に追加された。またこれを受けて平成32年版診療放射線技師国家試験出題基準が改定され、第72回診療放射線技師国家試験より適用された。

昨年度に引き続き、診療放射線技師として業務を実施するときに必要となる知識および技能を問う問題が適切に出題されていた。また業務拡大・医療安全管理について出題基準に沿って出題されており、受験者の学習成果を適切に評価できる良問が多かった。

過去に出題された問題と類似した内容も多く見られ、受験者にとっては解答しやすかったといえる。今回、「複数解答と思われる問題」が5問、「解答が困難になる可能性がある問題」が4問、「問題としては成立するが、難易度を考慮していただきたい問題」が3問あった。さらに設問文中に誤植と思われる用語が見られた。

試験委員長、副委員長を中心とした、試験委員の丁寧かつ慎重な問題の作成ならびに公平な合否判定をお願いしたい。

2. 具体的な内容

（1）読影の補助に関連する問題

読影の補助を実施するために必要となる医学的知識を問う問題が多数出題されていた。疾病に関する原因・発生頻度・解剖学的配置など診療放射線技師の業務内容を鑑みて、その重要性から国家試験問題に反映していただいたことは高く評価することができる。

（2）視覚素材

全ての画像が鮮明に印刷されており、受験生は判読しやすかったと思われる。今回、午後22のように画像から病態を推論させる問題が初めて出題された。やや難易度は高かったが、来年度以降も基本的な疾患が描出された画像より、原因や症状・治療法・緊急的処置などを判別させる問題を多数出題すべきである。

（3）医療安全管理学

学校での指導内容を考慮した出題内容となっており、医療安全の基礎知識を適正に評価できる問題であった。一方で、院内感染および高磁場の安全対策についての出題がなかったことは残念である。医療安全上、臨床現場で必要となる知識および技能であり、毎年度の出題を考慮していただきたい。

（4）現在では使われていない機器に関する出題

午前13に定電圧形および三相全波整流に関する問題が出題された。

これらは現在製造されておらず、臨床でも使用されていない装置である。国家試験問題には、少なくとも製造および販売がされ、臨床で使用されている装置に限っての出題をお願いしたい。

3. 解答が複数と思われる問題

（1）午前17　上腹部の超音波横断像を別に示す。誤っているのはどれか。

1. ア ――― 上腸間膜静脈
2. イ ――― 腹部大動脈
3. ウ ――― 脾静脈
4. エ ――― 膵体部
5. オ ――― 膵頭部

（解答）1と5の複数解答

（理由）1. 上腸間膜静脈ではなく、上腸間膜動脈であり誤り。
5. 矢印が膵頭部でない位置を指しており誤り。

（2）午前28　『採用』放射性医薬品の集積機序でカテコラミンと関係するのはどれか。

1. ^{123}I－IMP
2. ^{123}I－MIBG
3. ^{123}I－BMIPP
4. ^{123}I－イオフルパン
5. ^{123}I－イオマゼニル

（解答）2と4の複数解答

（理由）2、4ともにカテコラミンと関係があるため、複数解答となる。

（3）午前87　『採用』胸部X線側面写真を別に示す。後縦隔の領域に含まれるのはどれか。

1. ア
2. イ
3. ウ
4. エ
5. オ

（解答）3と4の複数解答

（理由）具体的な分類法が設問文中に書かれていない。そのため解答が2つになる。公平性を考慮し複数解答としていただきたい。

（4）午後42　『採用』高エネルギーX線照射法で正しいのはどれか。

1. 2門以上は多門照射法である。
2. 固定照射法はSSD法を用いる。
3. 原体照射法は補償フィルタを用いる。
4. 回転照射法の回転角度は360度である。
5. 振子照射法の振子角度は1度から180度である。

（解答）1と4の複数解答

（理由）1. 教科書に2門以上を多門照射法と解説されている。
4. 正しい選択肢である。

（5）午後62　先天性心疾患はどれか。

1. 大動脈解離
2. 僧帽弁狭窄症
3. 僧帽弁閉鎖不全症
4. 大動脈弁閉鎖不全症
5. Fallot＜ファロー＞四徴症

（解答）2、3、4、5の複数解答

（理由）2、3、4、5は先天性心疾患に分類されている（小児慢性特定疾病情報センター　ウェブサイトより引用）。

4. 設問や選択肢に不備があり、解答が困難になる可能性がある問題

（1）午前43　『採用』電子線を90%線量域に200cGy照射する場合のMU値に最も近い値はどれか。ただし、深部量百分率85.1%、出力係数0.980、モニタ校正値0.990cGy・MU^{-1}とする。

（理由）上記の条件で計算すると、228.8MUとなる。最も近い値となるのは選択肢2の218MUである。しかし、MU値が10.8も差が生じており、最も近い値と判断することは困難である。MU値を正確に計算することの意義は各学校で指導されており、このような設問および選択肢は放射線治療領域の出題としてふさわしくない。

（2）午前55　ショック時に見られる徴候として正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 過呼吸
2. 意識消失
3. 顔面紅潮
4. 四肢熱感
5. 脈拍触知不能

（理由）設問文中の「ショック」が明確に示されていない。出血性ショック、アナフィラキシーショックなど具体的でかつ丁寧な設問文としていただきたい。

（3）午後16　左膝関節MR像のT_2強調像とプロトン密度強調像を別に示す。誤っているのはどれか。

1. Aには膝蓋骨が描出されている。
2. Aには外側半月板が描出されている。
3. Bには前十字靱帯が描出されている。
4. Bには内側側副靱帯が描出されている。
5. A、Bいずれにおいても大腿骨骨髄の信号は正常である。

（理由）解答は2である。しかし、大腿骨が描出されている範囲が狭く、この画像から選択肢5を判別させるには無理がある。

（4）午後47　二次元画像の画素値を図に示す。この画像に平均値フィルタを用いた重み係数1のアンシャープマスク処理をしたとき、座標（1、1）における出力値で正しいのはどれか。

1. －3
2. －2
3. 1
4. 2
5. 4

（理由）平均化フィルタを利用する場合、カーネルサイズの明記が必要となる。しかしながら、サイズが指定されていない。問題が成立しない可能性がある。

5. 問題としては成立するが、難易度を考慮していただきたい問題

午前5　午前75　午後13

6. 設問文中に誤植があった問題

午前99　『採用』**放射線同位元素（誤）→放射性同位元素（正）**

7. 今後の国家試験に向けての提案

（1）試験科目の見直し

業務拡大により、指定規則ならびに診療放射線技師国家試験出題基準が改定され、第72回診療放射線技師国家試験より適用となった。国家試験科目は診療放射線技師法施

行規則第10条に定められているが、現在のところ法改正がなされておらず、本年度は昨年度と同じ科目数（14科目）で実施された。そのため新たに追加された医療安全管理学がX線撮影技術学などと異なった取り扱いになっており、各分野に分散された形で出題されていた。専門分野に位置付けられていることから試験科目の一つとして明確化することが望ましいと考える。早急に診療放射線技師法施行規則の改正を行っていただきたい。

（2）出題数の見直し

現在、診療放射線技師の国家試験問題の出題数は200問で実施されている。しかしながら、業務拡大や放射線医学の発展により、現在の出題数では診療放射線技師として必要な知識および技能が正しく評価できなくなっている可能性がある。医療ニーズが高まる中、臨床現場で求められる医療の質および医療安全の重要性から、出題数を増加させるための検討を切にお願いしたい。実現すれば全ての領域においてバランスの良い出題数が可能となると考えている。

8. 結　語

医療を受ける国民にとって重要なことは、その時々で最良な医療が受けられることである。日進月歩の医療現場で医療専門職種に求められる知識・技術は増え続けている。国家試験問題の傾向は教育現場で即座に対応するため、医療現場における安全な医療が反映される礎となり重要である。そのためにも、医療社会ニーズを反映した救急医療や読影補助、そして医の倫理、院内感染・多職種連携、また専門職種に特化した医療被ばく管理等の設問も望みたい。

今国家試験問題に反映されたように、業務拡大に伴う設問も多く出題される状況を勘案すると、現行の出題数200問ではすでに限界に来ていると言わざるを得ない。ぜひとも国家試験問題数の増加を検討することをお願いしたい。

「現状の医療ニーズに適応するため、幅広い効果的な試験を課すために問題数の増加は必要不可欠である」

＊上記の理由により国家試験問題数の増加をぜひお願いしたい。

提案：200問（現行）　→　240問（改正後）

出題数を増加すべき科目名と問題数の内訳

①基礎医学大要	**30問→40問（10問増）**
②エックス線撮影技術学	**20問→25問（5問増）**
③診療画像検査学	**20問→25問（5問増）**
④診療画像機器学	**20問→25問（5問増）**
⑤放射線安全管理学	**10問→20問（10問増）**
⑥医用画像情報学	**10問→15問（5問増）**

最後に、第72回診療放射線技師国家試験に出題された問題を本委員会として適切であったか、評価・分析した結果について医政局医事課試験免許室に答申した。『採用』と記載した設問について、JARTからの指摘が考慮されたと判断している。そして正式に発表された**本年度の受験者数は2,914人で合格者数2,397人、合格率82.3%**（前年度：受験者数3,202人、合格者数2,537人、合格率79.2%）であった。このような結果から、難易度については例年並みであったと感じている。

そして本年度も、新たに2,397人の診療放射線技師の皆さんがわれわれと共に医療現場で業務に就くことになる。これからの彼らの活躍を大いに期待するとともに、診療放射線技師唯一の職能団体である本会への入会をぜひお願いしたいものである。

INFORMATION

事務局辞令交付式 執り行われる

2020年4月1日（水）午前10時15分より、本会事務所会議室において2020年度辞令交付式が執り行われた。中澤会長から新入職員ならびに期間更新職員一人一人に辞令を交付し、新入正職員は誓約書を読み上げた。最後に中澤会長からの訓示があった。

新入正職員は以下の通りである（写真左より）。

・会員係　大橋 加歩
・生涯教育係　倉持 貴美子
・専門職　鷲見 和幸
・総務係　絹山 美歌
・経理係　荒井 直美
・生涯教育係　小堀 幸恵

2019年度 第3回 画像等手術支援認定講習会 開催される

2020年2月16日（日）、東京大学医学系研究科 教育棟鉄門記念講堂で2019年度第3回画像等手術支援認定講習会が開催された。今回は、全世界にCOVID-19が拡散している中、世間（母国）でいまだ多くのイベントが開催自粛モードにない状況下での開催となった。当日は朝から小雨という天候には恵まれない中、事前応募者267人に向け講習会を遂行した。また急きょ感染防止のため受講者にはマスクを配布し、可能な限りマスク着用で講習会を受講する意向も伝え、予定していた8科目8時間というハードスケジュールを滞りなく無事終了した。東京都は地方からのアクセスが非常に良く、遠方からの受講者も数人見受けられた。昨年も季節的にインフルエンザが流行する時期でもあったため、感染防止を意識した講習会は今回で2度目となった。時期などを考慮しながら学術的なイベントを進めることが、開催側として必須であることを再認識した。今後も多くの参加希望者のために、安全・安心な環境の下で講習会・認定試験を企画したい。

画像等手術支援分科会の指針は、多くの認定技師を発掘し、臨床に強い知識を養って装置に向き合うとともに、一医療人として患者および病気にきちんと向き合える診療放射線技師の育成を目指している。3次元画像から見いだす情報は、読影力も含めた患者支援である。そのため本ライセンスは、国民または他職種に認知していただくためのものでもあるので、当講習会を1つのツールと考えていただき、必ず認定試験を受験して認定資格を取得していただきたい。次回の認定試験は2020年6月21日（日）を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で延期とした。日程が決まり次第、改めてご案内させていただく。

今回の講師は以下の当分科会委員が担当した。

・画像処理表示法	井田 義宏	（藤田医科大学病院）
・救急領域	石風呂 実	（広島大学病院）
・胸部領域	牛尾 哲敏	（滋賀医科大学医学部附属病院）
・心血管・大血管	立石 敏樹	（国立病院機構宮城病院）
・消化管領域	坂本 崇	（済生会熊本病院）
・脳神経・頭部領域	大村 知己	（秋田県立循環器・脳脊髄センター）
・骨軟部領域	野水 敏行	（富山労災病院）
・腹部領域	富田 博信	（埼玉県済生会川口総合病院）

（広島大学病院 診療支援部 画像診断部門　石風呂 実）

JART求人広告掲載について

INFORMATION

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ（各種様式→その他）よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

公益社団法人大分県放射線技師会 創立70周年記念事業 開催報告

公益社団法人大分県放射線技師会
会長　江藤 芳浩

記念式典

本会は1949（昭和24）年、保健所に勤務するエックス線技師を中心に約30人で大分県エックス線技師会として発足致しました。会発足の2年後、1951（昭和26）年に診療エックス線技師法が制定され、さらに1968（昭和43）年に「診療放射線技師及び診療エックス線技師法」と一部改正されたことに伴い、1969（昭和44）年に大分県放射線技師会と名称を変更致しました。その後、1987（昭和62）年4月に社団法人大分県放射線技師会として認可を受け、2012（平成24）年4月1日には公益社団法人として認定を頂き、現在に至っております。

2020年2月9日（日）、レンブラントホテル大分において本会創立70周年記念事業（記念講演・記念式典・記念祝賀会）を挙行致しました。

記念祝賀会

記念講演では、日本診療放射線技師会 中澤靖夫会長に「日本診療放射線技師会事業の軌跡と今後の展望」と題してご講演いただきました。式典では、中澤会長をはじめ、大分県福祉保健部長、衆議院議員（前防衛大臣）岩屋 毅議員、大分県立看護科学大学 甲斐倫明教授にご祝辞を頂きました。また大分県薬剤師会会長、大分県保健医療団体協議会各団体会長、九州地域放射線技師会各県会長ご臨席の下、大分県知事感謝状ならびに大分県放射線技師会会長表彰の表彰式を執り行い、式典は厳かに、また華やかに執り行われました。式典終了後、会場を移し記念祝賀会を開催致しました。内閣府特命担当大臣 衛藤晟一議員、九州地域放射線技師会 西小野副会長、大分県保健医療団体協議会会長よりご祝辞を頂いた後、プロマジシャンによるマジックショーなどで大いに盛り上がり、ご参加いただいた皆さまと楽しいひとときを過ごすことができました。

記念講演

衛藤晟一議員

九州各県会長と中澤会長

このイベントには、会員の他、平素より本会運営にお力添えを頂いている各企業・医療機器メーカーさまより総勢101人のご参加を頂き、盛大・盛会裏に終えることができました。なお、本記念事業の内容は記念誌として発行致します。

本会は今後も、放射線に関する知識の普及啓発および診療放射線学の向上発展を図るとともに、県民の健康福祉の向上に寄与することを目的として活動してまいります。関係各位におかれましては、従前にも増して、ご指導ご鞭撻（べんたつ）を賜りますようお願い申し上げます。

公益社団法人愛媛県診療放射線技師会 創立65周年記念式典・記念講演・祝賀会 開催報告

公益社団法人愛媛県診療放射線技師会
会長　水口 司

公益社団法人愛媛県診療放射線技師会の創立65周年を記念して、2020年2月16日(日)、国際ホテル松山で記念式典・記念講演・祝賀会を開催致しました。

本会は1955（昭和30）年、愛媛県エックス線技師会として会員数60人で創立されました。その後、法律の改正に伴い1969（昭和44）年に愛媛県放射線技師会と名称を改め、1984（昭和59）年には社団法人愛媛県放射線技師会となりました。そして2008（平成20）年12月に施行された新たな公益法人制度の下、数年間の特例民法法人を経て公益社団法人として認定を頂き、2013（平成25）年4月より公益社団法人愛媛県診療放射線技師会と改称し新たな歩みを始めました。そして現在、会員数439人で組織する団体へと成長しました。本会の礎を築き、多くの課題を乗り越えながら今日まで維持・発展に尽力された歴代の会長をはじめ諸先輩方に、この場をお借りして敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

創立65周年記念行事として、日本診療放射線技師会会長 中澤靖夫さまより「日本診療放射線技師会の現状と課題」と題して記念講演を頂きました。

記念式典では、愛媛県知事 中村時広さま、衆議院議員 塩崎恭久さま、愛媛県医師会会長 村上 博さま、日本診療放射線技師会会長 中澤靖夫さまよりご祝辞を賜りました。続いてご来賓の関連団体の皆さまのご紹介、心温まる多くの祝電の披露へと式典は進行しました。そしてこの機会に、永年にわたり診療放射線業務に精励し、診療放射線業務従事者の指導育成と業界の発展に功績が認められた本会会員5人（冨永 亨、大元謙二、本田弘文、外山 弘、水口 司）が愛媛県知事表彰を賜り、受賞者を代表し冨永さまが謝辞を述べられ、滞りなく厳かに式典を終えることができました。

式典終了後に開かれた祝賀会では、愛媛県理学療法士会会長 定松修一さま、衆議院議員 畦元将吾さまからのご祝辞に続き、第12代会長 新山博彬さまの乾杯の音頭で宴が幕を開けました。歴代の役員OBや懐かしい会員の皆さま、関係団体の皆さまと楽しい親睦のひとときを過ごすことができました。

創立65周年という節目の年に当たり、公益社団法人愛媛県診療放射線技師会は時代の要請に柔軟に対応できる体制をもって、より一層の研鑽（けんさん）を積み重ねて、県民保健医療の発展と診療放射線技師の資質向上に努め、医療を行う側も、医療を受ける側も、共に健康で幸せな未来を実現するための力となれる存在で在りたいと思います。

INFORMATION

65歳以上の方の会費が8,000円になりました！

第79回定時総会において「会費等納入規程」の改正があり、2019年度中に65歳を迎える会員、および65歳以上の会員の方の年会費が8,000円になりました。2019年度の会費請求から実施しておりますので、お知らせ致します。

それに伴い、会費の終身免除（会費等納入規程第8条）は、5年間の猶予をもって2023年3月末日で終了致します。

なお、50年勤続表彰受賞者で35年以上継続している会員の方の年会費終身免除は、これまで通りです。

※会費の終身免除

第8条　25年または30年勤続表彰受賞者で25年以上継続して会員であり55歳以上の会員は、100,000円を本会に納付し、その旨を申請することにより、翌年度以降の会費は終身にわたって免除される。

公益社団法人広島県診療放射線技師会 創立70周年記念式典 開催報告

公益社団法人広島県診療放射線技師会
会長　今田 直幸

畦元将吾衆議院議員

2020年3月1日（日）、ANAクラウンプラザホテルにおいて公益社団法人広島県診療放射線技師会の創立70周年記念式典を挙行致しました。

コロナウイルス感染拡大防止のため大規模な集会や会食が自粛される中、本会の70周年記念事業における市民公開講座・祝賀会などの企画は中止せざるを得なかったのは大変残念ではありましたが、感染防護に十分配慮したかたちで記念式典のみ執り行いました。

来賓として、畦元将吾衆議院議員、松井一實広島市長、田中剛広島県健康福祉局長（広島県知事代理）、平松恵一広島県医師会会長、檜谷義美広島県病院協会会長、中澤靖夫日本診療放射線技師会会長の方々にご来臨を賜り、加えて皆さまより祝辞を頂戴致しました。

また広島県の各医療職種の代表の方々、中四国8県の診療放射線技師会会長の方々にもご参加いただきました。

この式典を通じ、広島県診療放射線技師会の過去70年にわたる諸先輩方のご尽力に感謝するとともに、職能団体としてその専門性を生かし市民・県民の皆さまの健康福祉に貢献できるよう、公益性の高い法人としてさらなる躍進を誓う節目となりました。

表彰式では、広島県知事表彰を3人の会員、広島病院協会表彰を5人の方々、広島県診療放射線技師会会長表彰を5人の方々が受賞されました。誠におめでとうございました。

最後になりましたが、ご多忙の中、本式典に遠方よりご参加くださいました中澤靖夫日本診療放射線技師会会長に心より深謝申し上げます。

後藤新平　最後の言葉に学ぶ

シリーズ・連載 series serialization　五感 —— five senses

「よく聞け。金を残して死ぬ者は下だ。仕事を残して死ぬ者は中だ。人を残して死ぬ者は上だ。よく覚えておけ！」

元プロ野球選手の故野村克也氏が講演の中でよく言われた決めセリフは「金を残すは三流、名を残すは二流、人を残すは一流」であるが、この言葉を残したのは、医師であり官僚・政治家でもあった後藤新平氏。1929（昭和4）年4月のことである。

現在の岩手県奥州市水沢に生まれた後藤新平（1857年7月24日（安政4年6月4日）－1929（昭和4）年4月13日）は、21歳で医術開業免状を取得し医師として公立病院（現・名古屋大学医学部）に勤務していたが、27歳の頃、内務省衛生局（現・厚生労働省）の照査係副長に任命され官僚として活躍し、36歳で内務省衛生局長となる。

その後、手腕を買われて台湾総督府民政局長・専売局長などを歴任し、台湾におけるアヘン根絶にも成功した。後藤氏は台湾で「近代化の父」と呼ばれている。

また南満州鉄道株式会社初代総裁、拓殖大学学長、そして政治家として逓信大臣・外務大臣・内務大臣などを歴任した。1923（大正12）年の関東大震災の折には復興院総裁に就任し、延焼遮断帯として東京都心の大動脈である大通りの整備や、火災で焼け落ちることのない鉄橋や大小さまざまな公園を設計し、現在の東京の都市デザインの基本型を創設したとされている。

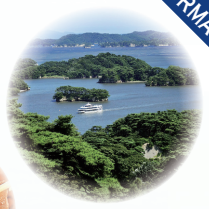
後藤氏の仕事の手腕もさることながら、優れた人材を見つけ、育て、登用する手腕こそ特記すべきものである。その根底には、15年先を見るその先見性と、常々話していた「一に人 二に人 三に人」にあるように、優秀な人材をつくり生かしていくことに尽力するという精神があった。

本会も先を見通す事業展開と人材発掘・育成のための事業遂行・運営を心掛け、後に続く診療放射線技師のために上・中・下、全てを残して進んでいく所存である。

今は2020（令和2）年4月、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染が世界183カ国・地域に広がり、累計感染者数は150万人を超え、死亡者数は9万人を上回った。わが国においても、感染者数は5千人、死亡者数は100人に増大している。その検査・治療・介護に携わる医療現場の最前線の医師・看護師をはじめ、全ての医療従事者・医療機関・関係者に心から敬意を表するとともに、療養中の方々の一日も早い回復を願っている。一日も早い終息と皆さま方が感染者とならないように祈念している。

（文責：小田正記）

INFORMATION



第8回 第36回日本診療放射線技師学術大会

宮城への道

宮城県放射線技師会　広報部

宮城温泉巡り

有名な温泉は全国各地にありますが、宮城にも名湯がありますので紹介します。

まずは、北部の大崎市にある**鳴子温泉郷**（なるこ）です。前にも紹介しましたが（第4回）、ここは温泉好きにはたまらない**多種多彩な泉質**があることで有名です。奥州三名湯と愛されてきた鳴子温泉をはじめ、5つの温泉地からなる県内有数の地域です。源泉の数は400本近くあり、国内の10種類ある泉質のうち、8種がこの温泉郷内で湧き出しています。この多彩な温泉を楽しんでいただくための**湯めぐりチケット**がありますので、ぜひご利用ください（こけし手形付きもあり）。

次は、仙台駅からバスで50分の**作並温泉**（さくなみ）です。開湯以来、さまざまな文化人をはじめ多くの人々が訪れ、今なお愛されている温泉です。肌にやさしいアルカリ性のとろみのある泉質と豊富なお湯から「**美女づくりの湯**」ともいわれており、露天風呂や岩風呂・立ち湯など各旅館の多彩な湯めぐりが楽しめます。風呂上がりのおすすめスイーツとしては、バニラソフトに温泉卵がオンした「**温玉ソフト**」があり、カスタードのような味わいが絶品です。これは**作並観光交流館**だけで販売されています。

最後に、これもまた仙台駅からバスで50分の所にある**秋保温泉**（あきう）です。こちらは何といっても開湯1,500年を誇る「**仙台の奥座敷**」と称される古湯です。伊達政宗公がよく足を運んだナトリウム塩化物泉の名湯です。学会の時期には、近くにある「**磊々峡**（らいらいきょう）」の紅葉がピークになるので、ぜひ温泉でほっこりとしてください。

では、また来月をお楽しみに！

■ **湯めぐりチケット**（http://www.naruko.gr.jp/file-tegata/tegata-0-hyoshi.htm）

■ **秋保観光ガイドブック**（http://www.akiuonsenkumiai.com/common/img/akiu200225.pdf）

＊**今月の一杯**：今月は「**浦霞（うらかすみ）**」です。そろそろ大好きな夏酒の季節がやってきます。ここの純米夏酒は爽やかで軽快な甘みと米のうま味が感じられる、夏にぴったりの味わいなのです。本当にお薦めです。ぜひ、ご賞味を！

写真提供：仙台観光国際協会、宮城県観光課

第36回日本診療放射線技師学術大会 宿泊予約について

INFORMATION

第36回日本診療放射線技師学術大会期間中は、宮城県内で開催されるイベントのため、宿泊施設の確保が困難になることが予想されます。

2020年3月1日より**第36回日本診療放射線技師学術大会ホームページで宿泊案内を開始します。早めの宿泊施設の確保をお願い致します。**

5月・6月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

- **放射線取扱主任者定期講習**：　東　京　6月19日（金）
- **モニタ精度管理セミナー**：　東　京　6月20日（土）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応のため中止致しました。

- **画像等手術支援認定資格試験**：東京・埼玉・京都・福岡　6月21日（日）　→　延　期

※開催日が決まり次第、改めてご案内させていただきます。

ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」および**「診療放射線技師基礎技術講習」**の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

- **「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程**：www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html

※新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた対応のため、6月13日～14日の第2回：東京開催は中止致しました。

- **「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程**：www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt0000004api.html

会員情報システム（JARTIS）更新に伴う、会費・受講料等の支払い方法の変更について

INFORMATION

本会では、会員の皆さまの会費・受講料等の支払いの利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化に向けた取り組みを推進しております。

このたびのJARTIS更新に伴い、以下の通り支払い方法の変更を計画しております。

まず、8月初旬の新JARTIS稼働に合わせて従来の方法に加え、これまでご要望の多かった「クレジットカード払い」ができるよう変更し、その後、2024（令和6）年度をめどに完全ペーパーレス化を進めてまいります。

皆さまにおかれましては、ご承知おきいただくとともに、移行に当たりご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益社団法人日本診療放射線技師会　財務委員会・事務局

会費・受講料等の支払い方法について

	2019（令和1）実績	2020（令和2）7/9まで	2020（令和2）8/10	2021（令和3）	2022（令和4）	2023（令和5）	2024（令和6）	2025（令和7）	2026（令和8）
コンビニ払込票	25,493	●	●	●	●	●	●		
コンビニペーパーレス	2,600	●	●	●	●	●	●	●	●
郵便局	8,596	●	●	●	●				
銀行払込票	1,107	●	●	●	●				
銀行ペーパーレス	-	▲	▲	▲	▲	●	●	●	●
クレジットカード	-		●	●	●	●	●	●	●

1　新情報システムリリース（2020（令和2）年8月10日）より、クレジットカード払いに対応致します。
2　2022（令和4）年度をもって、郵便局および銀行払込票を中止致します。
3　2023（令和5）年度より、銀行ペーパーレスを本格的に実施致します。
4　2025（令和7）年度より、完全ペーパーレス化致します。
5　会員の支払い方法の割合により、計画は前後することがあります。
6　今後、社会において新しい支払いサービスが登場したら、随時検討致します。

事務所案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日（7月13日）および年末年始（12月29日～1月3日）は執務致しません。